

# 平成27 (2015) 年度 年間指導計画

|       |         |     |     |     |   |
|-------|---------|-----|-----|-----|---|
| 教科・科目 | 国語・国語総合 | 学年  | 1年  | 教科書 | 教育出版「国語総合」  |
|       |         | 単位数 | 4単位 | 副教材 | 桐原書店「五訂版 漢字とことば 常用漢字アルファ」<br>第一学習社「新版三訂 カラー版 新国語便覧」<br>東京書籍「新精選 古典文法」 |

**学習目標** 国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

**学習方法** ○国語の表現の特色や語句などを辞書を用いながら、正確に理解しましょう。  
○文学的な文章を読み味わい、人物の生き方やその表現の仕方などについて理解を深めましょう。  
○論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開をつかみ、考え方の視野を広げ、学習意欲を高めましょう。  
○古典や漢文に触れ、文化の共通点や相違点を感じながら、考え方を豊かにしましょう。

| 学習評価 | 評価の観点    |   | 科目の評価の観点の趣旨   |   |   |   |   |
|------|----------|---|---|---|---|---|---|
|      | a        | b | a   | b | c | d | e |
| a    | 関心・意欲・態度 |   | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 |   |   |   |   |
| b    | 話す・聞く能力  |   | 目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。      |   |   |   |   |
| c    | 書く能力     |   | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。            |   |   |   |   |
| d    | 読む能力     |   | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。        |   |   |   |   |
| e    | 知識・理解    |   | 伝統的な言語文化及び言語の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。           |   |   |   |   |

| 学期 | 内容のまとめ                    | 単元(題材)       | 学習内容  | 評価の観点 |   |   |   |   | 単元(題材)の評価規準   | 評価方法                          |
|----|---------------------------|--------------|---|-------|---|---|---|---|---|-------------------------------|
|    |                           |              |   | a     | b | c | d | e |   |                               |
| 1  | 話すこと・聞くこと<br>書くこと<br>読むこと | 自己紹介と高校生活の抱負 | 出身中学校や中学時代の思い出、高校生活の抱負等のスピーチをする。<br>内容や表現の仕方を吟味しながら、お互いのスピーチを聞く。  | ○     | ○ |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成している。<br>・何のために、誰に向かってどのような条件で話すのかを考え、目的や場にあわせて話し方をしている。<br>・自分や他の生徒の、話すこと・聞くことを評価している。<br>・誰に向かって、何のためにどのような条件で書くのかを考えている。                     | ・スピーチ<br>・ワークシートの分析<br>・作文の分析 |
|    |                           | 随想や評論を読む(1)  | 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。<br>文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述したりする。                                      | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・随想的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。<br>・語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取るとともに、目的に応じて文章全体や特定の項目をまとめたり、説明したりしている。  |                               |
|    |                           | 古文入門         | 歴史的仮名遣いや古文での基本的な知識を身につける。<br>文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。  | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・伝統的な言語文化への興味・関心を広げたり深めたりしている。<br>・基本的な文語のきまり(歴史的仮名遣い等)を理解している。<br>・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。   |                               |
|    |                           | 小説を読む(1)     | 登場人物の心情、生存への欲求などを読み取る。(いのちの尊重に関する教育)<br>優れた表現に接してその条件を考えて自分の表現に役立てる。                                      | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読んでいる。<br>・表現の仕方についての評価を通して得たことを、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くことに生かしている。  |                               |
| 2  | 話すこと・聞くこと<br>書くこと<br>読むこと | 随想や評論を読む(2)  | 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をわらえたりする。<br>論理の構成や展開を工夫して自分の考えを文章にまとめる。                             | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・文章の組立てや骨組みを的確にとらえている。<br>・文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。<br>・論理の構成や展開を工夫している。   |                               |
|    |                           | 古文解釈の基本      | 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、文語のきまりを理解する。<br>文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をわらえたりする。                         | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・古文を読むことに役立つ、文語用言の基本的な決まりを身に付けている。<br>・考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。   | ・ワークシートやノートの分析<br>・定期試験       |
|    |                           | 詩を味わう        | 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。<br>考えを深めるために相手の立場や考えを尊重し、表現や進行などを工夫して話し合う。                                      | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・文学的な文章を表現の技法や語句の使い方などをとらえて読んでいる。<br>・話し合うことの意味を認識している。<br>・相手に応じた話の構成や言葉遣いなどを工夫している。  |                               |
|    |                           | 漢文入門         | 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、漢文のきまりを理解する。<br>文章の構成を確かめ、叙述に即して的確に読み取ったりする。   | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・漢文を読むことに役立つ、訓読の基本的な決まりを身に付けている。<br>・文章の構成や展開を確かめ、文章の内容を的確に読み取っている。  |                               |
| 3  | 話すこと・聞くこと<br>書くこと<br>読むこと | 小説を読む(2)     | 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。<br>考えを深めるために相手の立場や考えを尊重し、表現や進行などを工夫して話し合う。<br>優れた表現に接してその条件を考えたり、自分の表現に役立てたりする。 | ○     | ○ |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。<br>・話し合うことにより、合意形成や思考の深化をはかっている。<br>・相手に応じた話の構成や言葉遣いなどを工夫している。<br>・表現の仕方について得たことを、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くことに生かす。 |                               |
|    |                           | 漢詩を味わう       | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。  | ○     |   |   |   | ○ | ・次のそれぞれの規準について達成しようとしている。<br>・文学的な文章を表現の技法や語句の使い方などをとらえて読んでいる。<br>・文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。   |                               |
| 通年 | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項      | 漢字や語句の学習     | 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書く。   | ○     |   |   |   | ○ | ・常用漢字を正しく読み、主な常用漢字を正しく書ける。<br>・常用漢字を正しく読み、主な常用漢字を正しく書くこととしている。  | ・漢字小テスト                       |

## 平成27 (2015) 年度 年間指導計画

|       |         |     |     |     |  |
|-------|---------|-----|-----|-----|--|
| 教科・科目 | 国語・現代文B | 学年  | 2年  | 教科書 | 明治書院「高等学校現代文B」                                 |
|       |         | 単位数 | 3単位 | 副教材 | 桐原書店「漢字とことば 常用漢字ワイドアルファ 改訂版」<br>東証書籍「新総合 図説国語」 |

|         |   |   |
|---------|---|---|
| 学習目標    | 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。                                    |   |
| 学習方法    | ○国語の表現の特色や語句、語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深める。<br>○文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて理解を深める。<br>○論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見をまとめる。 |   |
| 学習評価    | 評価の観点   |   |
|         | 科目の評価の観点の趣旨   |   |
|         | a 関心・意欲・態度  | 国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。                        |
|         | b 話す・聞く能力   | 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合い、自分の考えを深め、発展させている。               |
|         | c 書く能力  | 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについての意見を適切に表現し、書いたり、まとめている。              |
|         | d 読む能力  | 論理的な文章を読んで、論理の展開や要旨を的確にとらえ、目的に応じて幅広く読み、文学的な文章を読んで、自分の考えを深め、発展させている。 |
| e 知識・理解 | 語句の意味、用法を的確に理解し語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、知識を身に付けている。   |   |

| 学期 | 内容のまとめ | 単元(題材) | 学習内容                               | 評価の観点 |   |   |   |   | 単元(題材)の評価規準   | 評価方法  |
|----|--------|--------|------------------------------------|-------|---|---|---|---|---|---|
|    |        |        |                                    | a     | b | c | d | e |   |   |
| 1  | 前編     | 随想     | 「月あかり雪あかり花あかり」<br>「詩を翻訳する少年」       | ○     |   | ○ | ○ | ○ | 筆者の意見や主旨を読み取りながら、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める。また、それについての意見を書いたり、まとめたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の観察</li> <li>音読の観察</li> <li>課題の取り組み</li> <li>ノートの確認</li> <li>漢字小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul> |
|    |        | 評論(1)  | 「心の脈」<br>「幸福について」                  | ○     |   | ○ | ○ | ○ | 文章の構成や段落相互の関係を読み取り、対比・逆説・比喩などの表現技法を理解しながら、筆者の発想や主張、内容をとらえる。         |   |
|    |        | 小説(1)  | 「山月記」<br>「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」 | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | 漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容をとらえる。主人公の変身にこめられた意味を考え、この小説の主題をまとめる。         |   |
| 2  | 前編     | 詩      | 「旅上」<br>「弟に速達で」<br>「永訣の朝」          | ○     | ○ |   | ○ | ○ | 詩的言語のはたらきを理解し、言語感覚をみがく。詩歌の世界を各自の心中に思い描く力を身につける。作者の思想、感情を理解する。       | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の観察</li> <li>音読の観察</li> <li>課題の取り組み</li> <li>ノートの確認</li> <li>漢字小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul> |
|    |        | 評論(2)  | 「愛つる 時間を見つめる」<br>「宇宙では『上』も『下』もない？」 | ○     |   | ○ | ○ | ○ | 文章の構成や段落相互の関係を読み取り、対比・逆説・比喩などの表現技法を理解しながら、筆者の発想や主張、内容をとらえる。         |   |
|    |        | 小説(3)  | 「ころ」(いのちの尊厳に関する教育)                 | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | 描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方を広げたり深めたりする。                    |   |
|    |        | 評論(3)  | 「多様性は人間だけのものか」<br>「コンコルドの誤り」       | ○     |   | ○ | ○ | ○ | 文章の構成や段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。                                |   |
|    |        | (小説2)  | 「ナイン」                              | ○     |   |   |   | ○ | 登場人物の置かれている状況や心情変化を捉え、話の展開を正確につかむ。                                  |   |
| 3  | 前編     | 評論(4)  | 「絵はすべての人を創るもの」                     | ○     |   | ○ | ○ | ○ | 筆者の主張や内容をとらえる。<br>筆者の主張から自分の意見をまとめ、意見文を書く。                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の観察</li> <li>音読の観察</li> <li>課題の取り組み</li> <li>ノートの確認</li> <li>漢字小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul> |
|    |        | 短歌・俳句  | 「風が来てささやくやうに」                      | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | 作者の背景を学習し、詠まれている情景や心情を味わう。風の様子が歌われている作品の印象の違いを話し合い、鑑賞文を書く。          |   |

# 平成27 (2015) 年度 年間指導計画

|       |        |     |     |     |   |
|-------|--------|-----|-----|-----|---|
| 教科・科目 | 国語・現代文 | 学年  | 3年  | 教科書 | 明治書院「高等学校 現代文B」                                     |
|       |        | 単位数 | 3単位 | 副教材 | 浜島書店「入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700」<br>京都書房「21新国語総合ガイド二訂版」 |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | ○近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を養う。 |
|------|--|

|      |   |
|------|---|
| 学習方法 | ○国語の表現の特色や語句、語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深める。<br>○文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて理解を深める。<br>○論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見をまとめる。 |
|------|---|

| 学習評価 | 評価の観点   |  | 科目の評価の観点の趣旨   |  |
|------|---------|--|---|--|
|      | a       | 関心・意欲・態度   | 近代以降の様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。また積極的に読書する態度を養う。 |  |
| b    | 話す・聞く能力 | 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合う。図書室やPCを活用して調べ学習を行い、お互いに発表しあう。            |   |  |
| c    | 書く能力    | 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書いたり、まとめたりする。また漢字や語句について理解を深める。            |   |  |
| d    | 読む能力    | 論理的な文章を読んで、論理の展開や要旨を的確にとらえられるようにする。文学的な文章を読んで、自分の考えを深め、発展させることができるようにする。     |   |  |
| e    | 知識・理解   | 語句の意味、用法を的確に理解し語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえるようにする。目的や課題に応じて情報を活用できるようにする。 |   |  |

| 学期 | 内容のまとめ                 | 単元(題材)                 | 学習内容   | 評価の観点 |   |   |   |   | 単元(題材)の評価規準   | 評価方法                                       |
|----|------------------------|------------------------|--|-------|---|---|---|---|---|--|
|    |                        |                        |  | a     | b | c | d | e |   |  |
| 1  | 評論を読む<br>小説を読む         | 随想<br>「おまえはどこに立っている」など | 随想を読んだり発表したりして、人間としての在り方・生き方について考える。<br>身近なものを新たな視点から見つめ直し、自己に引きつけて考える。<br>漢字を正確に記すことができるとともに、語句の正確な意味を把握する。 | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・随想の読解のしかたを習得する。<br>・文章の構成の特徴について理解する。<br>・作品の主題に迫り、自然と人間のかかわりについて 自らの考えをまとめ発表する。             | ・授業態度<br>・指名音読<br>・発問評価<br>・課題の提出<br>・定期考査 |
|    |                        | 小説<br>「オデュッセイア」など      | 現代の短編小説を読解する。<br>漢字を正確に記すことができるとともに、語句の正確な意味を把握する。   | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・壮大な歴史や冒険を描くファンタジーについて関心を深める。<br>・コロコロの象徴的な意味を整理し、その存在について深く捉えている。                            | ・授業態度<br>・指名音読<br>・発問評価<br>・課題の提出<br>・定期考査 |
|    |                        | 評論<br>「小説とは何か」など       | 随想的な要素を持つ評論を読解する。  | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・対立概念がその関係を変化させる過程をきちんと追うことができている。  |  |
| 2  | 小説を読む<br>詩を読む<br>評論を読む | 詩<br>「九月の風」「流星」など      | 近現代詩の鑑賞の仕方を学習する。   | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・各連の内容をつかみ、連ごとの展開を理解する。<br>・詩の持つ音楽性、レトリックの効果、擬音語、擬態語、比喩表現について理解する。                            | ・授業態度<br>・指名音読<br>・発問評価<br>・課題の提出<br>・定期考査 |
|    |                        | 小説<br>「怖れ」             | すぐれた短編小説の持つ緊密な構成を理解し、鑑賞法を習得する。   | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・登場人物の心情を読み取り、「生」と「死」について考えを深めている。  |  |
|    |                        | 「博士の愛した数式」など           | 漢字を正確に記すことができるとともに、語句の正確な意味を把握する。  | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・設定を理解し、登場人物の相互関係を通じて、人間についての見方や考え方を深めている。  |  |
|    |                        | 評論<br>「『世間』とは何か」など     | 論理的な文章を読解する。   | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・日本における人権問題を考えるにあたっての問題点について、自分なりの考えを持つとしている。<br>・「世間」と「社会」との違いや日本における個人の自己形成の特徴について理解を深めている。 |  |
| 3  | 評論を読む                  | 評論<br>「私の個人主義」         | 論理的な文章を読解する。<br>漢字を正確に記すことができるとともに、語句の正確な意味を把握する。  | ○     | ○ | ○ | ○ | ○ | ・前半、後半の要旨をそれぞれ正確に把握し、筆者の言う「個人主義」について理解できている。  | ・授業態度<br>・指名音読<br>・発問評価<br>・課題の提出<br>・定期考査 |

平成27 (2015) 年度 年間指導計画

|       |         |     |     |     |                        |
|-------|---------|-----|-----|-----|------------------------|
| 教科・科目 | 国語・国語表現 | 学年  | 3年  | 教科書 | 大修館書店「国語表現」            |
|       |         | 単位数 | 2単位 | 副教材 | 大修館書店「国語表現」準拠「基礎練習ノート」 |

|      |   |   |  |  |  |
|------|---|---|--|--|--|
| 学習目標 | 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。<br>また、伝え合う力を高めるための実践的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、社会性を高める。 |   |  |  |  |
| 学習方法 | ○教科書の単元に従って、様々な形で表現を実践するとともに思考を深める。<br>○副教材の演習を解きながら、文法などの基礎知識を学び、語彙力の向上を図る。  |   |  |  |  |
| 学習評価 | 評価の観点   | 科目の評価の観点の趣旨   |  |  |  |
|      | a 関心・意欲・態度  | 表現に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとしているか。<br>課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。  |  |  |  |
|      | b 話す・聞く能力   | 積極的に「話すこと・聞くこと」の学習に取り組んでいるか。<br>自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりできたか。<br>「スピーチ」「プレゼンテーション」といった活動に参加し、決められた役割をこなして成果をあげることができるか。 |  |  |  |
|      | c 書く能力  | 積極的に「書くこと」の学習に取り組んでいるか。<br>自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができるか。<br>「コラム」「小論文」「レポート」「自分史」「手紙」などといった課題を完成できるか。                         |  |  |  |
|      | d 知識・理解   | 表現に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけることができるか。<br>特に、漢字や語句に対する理解を広げることができるか。   |  |  |  |

| 学期 | 内容のまとめ           | 単元 (題材)       | 学習内容  | 評価の観点 |   |   |   | 単元 (題材) の評価規準   | 評価方法   |                          |
|----|------------------|---------------|---|-------|---|---|---|---|--|--------------------------|
|    |                  |               |   | a     | b | c | d |   |  |                          |
| 1  | 表現力を培う           | 1 書いて伝える      | 1 整った文を書く<br>2 わかりやすい文を書く<br>3 文のつながり                   |       |   |   | ○ | ○   | ・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。<br>・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。<br>・接続表現の種類と働きを理解する。<br>・文脈による文のつながりを理解する。 | ワークシート<br>小テスト           |
|    |                  | 2 小論文・レポート入門  | 1 小論文とは何か<br>2 反論を想定して書く<br>3 資料を読み取って書く<br>4 発想を広げて書く  | ○     |   |   | ○ | ○   | ・小論文の基本的な書き方を理解する。<br>・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。<br>・文章の要旨をつかむための方法を理解する。<br>・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。                       | ワークシート<br>小テスト<br>作品     |
|    |                  | 3 自己PRと面接     | 1 自分を見つめて<br>2 効果的な自己PR<br>3 将来の自分を考えよう<br>4 志望動機をまとめよう | ○     | ○ |   |   |   | ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。<br>・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。<br>・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。<br>・志望先について十分な情報を集める。                    | 観察<br>発表<br>相互評価<br>自己評価 |
| 2  | 表現力を培う<br>表現を楽しむ | 3 自己PRと面接     | 5 面接にチャレンジ  | ○     | ○ |   |   | ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。<br>・質問に対して、具体的に説得力のある答え方を示す。                                | 観察・発表・相互評価<br>自己評価   |                          |
|    |                  | 2 小論文・レポート入門  | 5 レポートを書く<br>6 論文を書くために                                 |       |   |   | ○ | ○   | ・レポートの基本的な書き方を理解する。<br>・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。<br>・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。<br>・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。                             | ワークシート<br>小テスト<br>作品     |
|    |                  | 6 会話・議論・発表    | 3 プレゼンテーションの工夫  | ○     | ○ |   |   |   | ・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。   | 観察<br>発表                 |
|    | 表現を楽しむ           | 9 パロディー物語を書こう |   |       |   | ○ | ○ | ・「吾輩は猫である」のパロディー物語を読み、表現上の工夫を理解する。<br>・著名な小説の表現上の特徴をまねて、パロディー物語を書く。                 | ワークシート<br>小テスト<br>作品   |                          |
| 3  | 表現力を培う<br>表現を楽しむ | 4 メディアを駆使する   | 4 メディアと情報   | ○     |   |   | ○ | ・情報が編集されたものであることを理解する。<br>・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。                      | ワークシート   |                          |
|    |                  | 表現を楽しむ        | 8 エッセイを書こう  | ○     |   |   | ○ | ・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。<br>・読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。 | 作品<br>相互評価<br>自己評価   |                          |

# 平成27 (2015) 年度 年間指導計画

|       |        |     |     |     |                             |
|-------|--------|-----|-----|-----|-----------------------------|
| 教科・科目 | 国語・古典B | 学年  | 2年  | 教科書 | 教育出版「新編 古典B 言葉の世界へ」         |
|       |        | 単位数 | 2単位 | 副教材 | 教研出版「読解をたいせつにする 体系古典文法 八訂版」 |

|      |   |
|------|---|
| 学習目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○古典に用いられている語句の意味・用法及び文の構造を理解すること。</li> <li>○古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。</li> <li>○古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</li> </ul> |
|------|---|

|      |  |
|------|--|
| 学習方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○読解を正確に行うために、辞書を用いて調べる習慣をつけてもらいます。</li> <li>○読解を正確に行うために、文語文法のきまりや漢文の訓読法について知識を深めます。</li> <li>○読解を深めるために、文化や歴史についても知識を深めていきます。</li> <li>○小テストやノートへの本文写し、暗誦テストなども行い、知識が定着するようにしていきます。</li> </ul> |
|------|--|

|      |       |          |  |  |  |  |
|------|-------|----------|--|--|--|--|
| 学習評価 | 評価の観点 |          | 科目の評価の観点の趣旨  |  |  |  |
|      | a     | 関心・意欲・態度 | 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。          |  |  |  |
|      | b     | 読む能力     | 古典を読んで、思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め発展させる。 |  |  |  |
|      | c     | 知識・理解    | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。            |  |  |  |
|      | d     |          |  |  |  |  |

| 学期       | 内容のまとめ             | 単元(題材)                | 学習内容      | 評価の観点 |   |   |  | 単元(題材)の評価規準  | 評価方法   |
|----------|--------------------|-----------------------|-----------|-------|---|---|--|--|--|
|          |                    |                       |           | a     | b | c | d  |  |  |
| 1        | 古文編 第1部<br>漢文編 第1部 | 古文編<br>一 説話<br>二 随筆   | 十訓抄       | ○     |   |   |  | A古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解している。<br>B中古・中世の思想や美意識の特徴をとらえている。<br>C語句の意味・用言の活用・助動詞の用法が理解できている。                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート提出</li> <li>・確認テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・観察</li> <li>・本文朗読</li> </ul> |
|          |                    |                       | 徒然草       | ○     | ○ | ○ |  |  |  |
|          |                    |                       | 枕草子       | ○     | ○ | ○ |  |  |  |
|          |                    |                       | 方丈記       |       |   | ○ | ○  |  |  |
|          |                    | 漢文編<br>一 逸話<br>二 史記   | 世説新話・韓非子  | ○     |   |   |  | A漢文や漢字に親しみを持ち、話の内容や詩の情感を理解している。<br>B日本文化への影響を理解している。<br>C漢文の訓読の方法・句法を理解している。   |  |
|          |                    |                       | 五雑俎・説苑    | ○     |   | ○ |  |  |  |
| 史記       | ○                  |                       | ○         | ○     |   |   |  |  |  |
| 2        | 古文編 第1部<br>漢文編 第1部 | 古文編<br>三 物語<br>四 日記   | 伊勢物語      | ○     | ○ | ○ | A古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解している。<br>B中古の思想や美意識の特徴をとらえている。<br>C語句の意味・用言の活用・助動詞の用法が理解できている。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート提出</li> <li>・確認テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・観察</li> <li>・本文朗読</li> </ul> |  |
|          |                    |                       | 大和物語      | ○     |   | ○ |  |  |  |
|          |                    |                       | 土佐日記      | ○     | ○ | ○ |  |  |  |
|          |                    |                       |           |       |   |   |  |  |  |
|          |                    | 漢文編<br>三 漢詩<br>四 文    | 唐詩選など     | ○     | ○ | ○ | A漢詩のきまりを理解している。<br>B漢詩漢文による日本文化への影響を理解している。<br>C漢文の訓読、語法を理解している。                       |  |  |
|          |                    |                       | 陶淵明集など    | ○     | ○ | ○ |  |  |  |
| 漁夫辞・桃花源記 |                    |                       | ○         | ○     |   |   |  |  |  |
| 3        | 古文編 第1部<br>漢文編 第1部 | 古文編<br>五 和歌<br>七 近世小説 | 万葉の歌・王朝の歌 | ○     |   | ○ | A和歌に親しみを持ち、おもしろさを理解している。<br>B近世小説を通じ、現代社会を考える力を付けている。<br>C語句の意味・用言の活用・助動詞の用法が理解できている。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート提出</li> <li>・確認テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・観察</li> <li>・本文朗読</li> </ul> |  |
|          |                    |                       | 日本永代蔵     |       |   | ○ |  |  | ○  |
|          |                    | 漢文編<br>五 思想(一)        | 論語ほか      |       |   |   | A漢文に親しみを持ち、内容を理解している。<br>B中国の思想に関心を持ち、自らの考えを深め、日本思想文化への影響を理解している。<br>C漢文の訓読、語法を理解している。 |  |  |
|          |                    |                       |           | ○     | ○ | ○ |  |  |  |

## 平成27年度 年間指導計画

|       |        |     |   |     |                  |
|-------|--------|-----|---|-----|------------------|
| 教科・科目 | 国語・古典B | 学年  | 3 | 教科書 | 教育出版「新版 古典B」     |
|       |        | 単位数 | 3 | 副教材 | 数研出版「大系古典文法 七訂版」 |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | <p>○古典に用いられている語句の意味・用法及び文の構造を理解すること。</p> <p>○古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。</p> <p>○古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</p> |
|------|--|

|      |   |
|------|---|
| 学習方法 | <p>○読解を正確に行うために、辞書を用いて調べる習慣をつけてもらいます。</p> <p>○読解を正確に行うために、文語文法のきまりや漢文の訓読法について知識を深めます。</p> <p>○読解を深めるために、文化や歴史についても知識を深めていきます。</p> <p>○小テストやノートへの本文写し、暗誦テストなども行い、知識が定着するようにして行きます。</p> |
|------|---|

|      |       |          |  |  |  |  |
|------|-------|----------|--|--|--|--|
| 学習評価 | 評価の観点 |          | 科目の評価の観点の趣旨  |  |  |  |
|      | a     | 関心・意欲・態度 | 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。          |  |  |  |
|      | b     | 読む能力     | 古典を読んで、思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め発展させる。 |  |  |  |
|      | c     | 知識・理解    | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。            |  |  |  |
|      | d     |          |  |  |  |  |

| 学期  | 内容のまとめ             | 単元(題材)                    | 学習内容       | 評価の観点 |   |   |   | 単元(題材)の評価規準   | 評価方法                                       |
|-----|--------------------|---------------------------|------------|-------|---|---|---|---|--|
|     |                    |                           |            | a     | b | c | d |   |  |
| 一学期 | 古文編 第2部<br>漢文編 第2部 | 古文編<br>一 随筆と日記<br>二 物語(一) | 枕草子        | ○     | ○ | ○ |   | A古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解している。<br>B中古・中世の思想や美意識の特徴をとらえている。<br>C語句の意味・用言の活用・助動詞・助詞の用法が理解できている。 | ・ノート提出<br>・確認テスト<br>・単元テスト<br>・観察<br>・本文朗読 |
|     |                    |                           | 和泉式部日記     | ○     | ○ | ○ |   |   |  |
|     |                    |                           | 大鏡         | ○     | ○ | ○ |   |   |  |
|     |                    |                           | 増鏡         |       |   | ○ | ○ |   |  |
| 一学期 | 古文編 第2部<br>漢文編 第2部 | 漢文編<br>一 史伝<br>二 漢詩       | 三国志        | ○     |   |   |   | A漢文や漢字に親しみを持ち、話の内容や詩の情感を理解している。<br>B日本文化への影響を理解している。<br>C漢文の訓読の方法・句法を理解している。              | ・ノート提出<br>・確認テスト<br>・単元テスト<br>・観察<br>・本文朗読 |
|     |                    |                           | 十八史略       | ○     |   | ○ |   |   |  |
|     |                    |                           | 李白・白居易     | ○     | ○ | ○ |   |   |  |
|     |                    |                           |            |       |   |   |   |   |  |
| 二学期 | 古文編 第2部<br>漢文編 第2部 | 古文編<br>三 和歌・俳諧<br>四 物語(二) | 万葉集・勅撰和歌集  | ○     |   |   |   | A古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解している。<br>B中古の思想や美意識の特徴をとらえている。<br>C語句の意味・用言の活用・助動詞の用法が理解できている。       | ・ノート提出<br>・確認テスト<br>・単元テスト<br>・観察<br>・本文朗読 |
|     |                    |                           | おくのほそみち    | ○     |   | ○ |   |   |  |
|     |                    |                           | 源氏物語       | ○     | ○ | ○ |   |   |  |
|     |                    |                           |            |       |   |   |   |   |  |
| 二学期 | 古文編 第2部<br>漢文編 第2部 | 漢文編<br>三 史記<br>四 諸子百家     | 史記         | ○     | ○ | ○ |   | A漢詩のきまりを理解している。<br>B漢詩漢文による日本文化への影響を理解している。<br>C漢文の訓読、語法を理解している。                          | ・ノート提出<br>・確認テスト<br>・単元テスト<br>・観察<br>・本文朗読 |
|     |                    |                           | 老子・荘子など    | ○     | ○ | ○ |   |   |  |
|     |                    |                           |            |       |   |   |   |   |  |
|     |                    |                           |            |       |   |   |   |   |  |
| 三学期 | 古文編 第2部<br>漢文編 第2部 | 古文編<br>五 評論               | 無名草子など     | ○     |   | ○ |   | A和歌に親しみを持ち、おもしろさを理解している。<br>B近世小説を通じ、現代社会を考える力を付けている。<br>C語句の意味・用言の活用・助動詞の用法が理解できている。     | ・ノート提出<br>・確認テスト<br>・単元テスト<br>・観察<br>・本文朗読 |
|     |                    |                           | 去来抄        |       |   | ○ | ○ |   |  |
|     |                    | 漢文編<br>六 日本漢詩文            | 亀田 鵬斎・夏目漱石 |       | ○ | ○ | ○ | A漢文に親しみを持ち、内容を理解している。<br>B中国の思想に関心を持ち、自らの考えを深め、日本思想文化への影響を理解している。<br>C漢文の訓読、語法を理解している。    | ・ノート提出<br>・確認テスト<br>・単元テスト<br>・観察<br>・本文朗読 |

## 平成27 (2015) 年度 年間指導計画

|       |          |     |     |     |                             |
|-------|----------|-----|-----|-----|-----------------------------|
| 教科・科目 | 国語・現代文総合 | 学年  | 3年  | 教科書 |                             |
|       |          | 単位数 | 2単位 | 副教材 | ピアソン 桐原「新体系現代文の演習グレード2 三訂版」 |

|      |  |  |
|------|--|--|
| 学習目標 | 現代の様々な文章の読み取りと鑑賞を通して、言葉や文章のルールを学び、読解のための基礎力を身につけるとともに、現代の諸問題に対するものの見方を理解する力を養う。  |  |
| 学習方法 | ○近代以降の様々な文章を読み、その表現の特色や語句、語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深める。<br>○文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて理解を深める。<br>○論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見をまとめる。<br>○演習問題に取り組むことにより、現代文の読解力の着実な深化をはかる。 |  |
| 学習評価 | 評価の観点  | 科目の評価の観点の趣旨  |
|      | a 関心・意欲・態度   | 近代以降の様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。また、読書意識を喚起し、読書力を高める。    |
|      | b 読む能力   | 論理的な文章を読んで、論理の展開や要旨を的確にとらえられるようにする。文学的な文章を読んで、自分の考えを深め、発展させることができるようにする。     |
|      | c 知識・理解  | 語句の意味、用法を的確に理解し語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえるようにする。目的や課題に応じて情報を活用できるようにする。 |

| 学期 | 内容のまとめ                  | 単元(題材)         | 学習内容  | 評価の観点 |   |   | 単元(題材)の評価規準  | 評価方法  |
|----|-------------------------|----------------|---|-------|---|---|--|---|
|    |                         |                |   | a     | b | c |  |   |
| 1  | 随想を読む<br>小説を読む<br>評論を読む | 随想<br>小説       | 「大和の牡丹」<br>「姉の駆け落ち」<br>「法然院の紅葉」                                 | ○     |   |   | 筆者の意見や主旨を読み取りながら、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める。  | 授業の観察<br>課題の取り組み<br>漢字小テスト<br>テキストの提出<br>定期試験 |
|    |                         | 随想<br>小説<br>評論 | 「鍋の中」<br>「季節のかたみ」<br>『「時間論」熱の背景』<br>「いちばん初めにあった海」               | ○     | ○ |   | 文章の構成や段落相互の関係を読み取り、対比・逆説・比喩などの表現技法を理解しながら、筆者の発想や主張、内容をとらえる。                        |   |
|    |                         | 随想<br>評論       | 「自然への感受性」<br>「クリンギット族の寡黙な墓守」<br>「ときの喪失」<br>「やむなき旅人」<br>「古典の楽しみ」 |       | ○ | ○ | 描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方を広げたり深めたりする。<br>段落構成の関係を理解する。慣用表現について理解を深める。   |   |
|    |                         | 評論             | 「生と死の自然観」   | ○     |   | ○ |  |   |
| 2  | 随想を読む<br>小説を読む<br>評論を読む | 小説<br>評論       | 「夕空晴れて」<br>「現代人の心をさぐる」<br>「フィクションとしての子ども」                       | ○     | ○ |   | 文章の要旨を的確にとらえて読もうとする態度を身につける。主要な論点を読み取る方法を理解する。表現の特色を理解する。                          | 授業の観察<br>課題の取り組み<br>漢字小テスト<br>テキストの提出<br>定期試験 |
|    |                         | 小説<br>評論       | 「ものに逢える日」<br>「読書について」<br>「自分を知るための哲学入門」<br>「手作り幻想」              |       | ○ | ○ |  |   |
|    |                         | 随想<br>小説<br>評論 | 「認識とイメージとレトリック」<br>「天平の甕」<br>「科学と日常性の文脈」<br>「発話の場面、発せられる言葉」     | ○     |   | ○ | 叙述に即して、人物の心情や情景などを的確にとらえる。近代から現代にいたる文章や文学の変遷を理解する。読むことを通して、じぶんの考えを深めようとする態度を身につける。 |   |
|    |                         | 小説<br>評論       | 「枯野抄」<br>「(私)探しゲーム」   |       | ○ | ○ |  |   |
| 3  | 評論を読む                   | 詩論<br>歌論<br>俳論 | 「ふるさとの家の壁」<br>「春ぞ経にける」<br>「現代俳句」                                | ○     |   | ○ | 詩歌の情景や感動の中心を考察しながら文章を読む。詩歌の分析方法を理解する。読むことを通して、優れた表現の分析や吟味をする。                      | テキストの提出<br>定期テスト                              |

## 平成27年度 年間指導計画

|       |      |     |   |     |                      |
|-------|------|-----|---|-----|----------------------|
| 教科・科目 | 古文総合 | 学年  | 3 | 教科書 |                      |
|       |      | 単位数 | 2 | 副教材 | 数研出版 四訂版力をつける古文ステップ2 |

|      |  |          |  |  |  |
|------|--|----------|--|--|--|
| 学習目標 | 古文が読めるようになる。同時に古典としての古文を読むことによって、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。   |          |  |  |  |
| 学習方法 | 古文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解するとともに、文語のきまりを復習理解し、国語の成り立ちや特質、言語の役割などを理解する。同時に、古文を読む能力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにしようしたり、古典を読んで、日本文化の特質について考えたりする。 |          |  |  |  |
| 学習評価 | 評価の観点  |          | 科目の評価の観点の趣旨                                  |  |  |
|      | a  | 関心・意欲・態度 | 古典の文法・時代的背景を理解し、古文の素晴らしさを認識し、現代に結びつけることが出来る。 |  |  |
|      | b  | 古文解釈の技能  | 基本的な古典文法を全般的に理解し、古文の特徴を踏まえ、古文解釈が出来る。         |  |  |
|      | c  | 知識・理解    | 基本的な古典文法を理解し、かつ古典の背景の知識があり、総合的な理解が出来ている。     |  |  |
|      | d  |          |  |  |  |

| 学期  | 内容のまとめ | 単元(題材)  | 学習内容              | 評価の観点          |   |   |   | 単元(題材)の評価規準  | 評価方法                                  |   |
|-----|--------|---|-------------------|----------------|---|---|---|--|---------------------------------------|---|
|     |        |   |                   | a              | b | c | d |  |                                       |   |
| 1   |        | 浦島の子<br>至愚の人<br>子しのびの森<br>燕の子安貝<br>天暦の御時に           | ・動詞               | ○              |   | ○ |   | a:平家物語や徒然草などが著名な古典文学であることを知っている今までの学習体験の中で振り返ることができる。b:用言助動詞が身につけている。C:口語訳は古文では省かれた語も的確に補われていて、書かれている内容がしっかり理解できている。               | ・授業での発表<br>・確認テスト<br>・レポート            |   |
|     |        |   | 形容詞・形容動詞          |                |   | ○ | ○ |  |                                       |   |
|     |        |   | ・助動詞①る・らる         |                |   | ○ | ○ |  |                                       |   |
|     |        |   | ・助動詞②す・さす・しむ③き・けり |                |   |   | ○ |  |                                       |   |
| 1   |        | 筆箒を憎む僧正<br>昔天竺のひと<br>正直者の夫婦<br>祇園の別当戒秀<br>横笛        | ・助動詞④つ・ぬ・たり・り     |                |   | ○ | ○ | a:平家物語や徒然草などが著名な古典文学であることを知っている今までの学習体験の中で振り返ることができる。b:用言助動詞が身につけている。C:口語訳は古文では省かれた語も的確に補われていて、書かれている内容がしっかり理解できている。               | ・授業での発表<br>・確認テスト<br>・レポート<br>・ワークシート |   |
|     |        |   | ・助動詞⑤む・むず         |                |   |   | ○ |  |                                       |   |
|     |        |   | ・助動詞⑥べし           |                |   | ○ | ○ |  |                                       |   |
|     |        |   | ・助動詞⑦ず・じ・まじ⑧らむ・けむ | ○              |   | ○ |   |  |                                       |   |
| 2・3 |        | 源氏物語の本意<br>火の騒ぎに<br>大塔建立<br>博打の子の年若<br>きが<br>白河院の御時 | ・助動詞⑨なり・めり・らし     | ○              |   |   |   | a:源氏物語や徒然草などが著名な古典文学であることを知っている今までの学習体験の中で振り返ることができる。b:用言助動詞が身につけている。助動詞についても学んでいる。C:口語訳は古文では省かれた語も的確に補われていて、書かれている内容がしっかり理解できている。 | ・授業での発表<br>・確認テスト<br>・レポート            |   |
|     |        |   | ・助動詞⑩まし・まほし・たし    | ○              | ○ |   |   |  |                                       |   |
|     |        |   | ・助動詞⑪なり・たり        |                |   | ○ |   |  |                                       |   |
|     |        |   | ・助詞①格助詞②接続助詞      |                |   | ○ | ○ |  |                                       |   |
|     |        | 成通の知恵<br>むかし備中国に<br>五月の御精進の<br>ほど<br>萩の葉            | 敬語①基本事項           |                | ○ |   | ○ | a:著名な古典文学作品と現代文学作品とのつながりを説明できる。b敬語について理解できている。語の識別ができる。c:口語訳は古文では省かれた語も的確に補われていて、書かれている内容がしっかり理解できている。                             | ・授業での発表<br>・確認テスト<br>・ワークシート          |   |
|     |        |   |                   | 敬語②二種類の用法を持つ敬語 |   |   | ○ |  |                                       |   |
|     |        |   |                   | 敬語③二重敬語()      |   |   | ○ |  |                                       | ○ |
|     |        |   |                   | 語の識別           | ○ |   | ○ |  |                                       |   |